

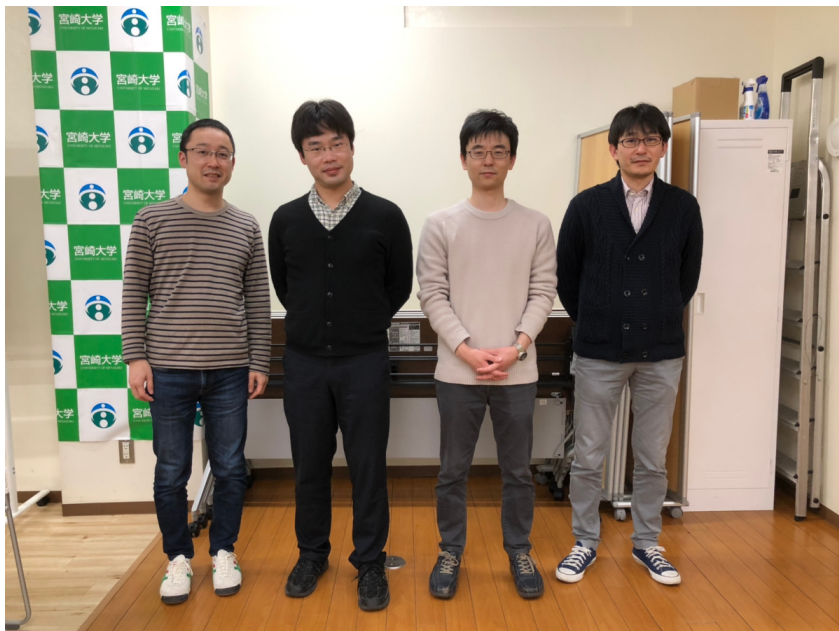
九州大学および宮崎大学での滞在

理学系研究科 物理学専攻 博士課程 2年 浅井健人

私は2020年2月25日から3月3日までの8日間九州大学に、3月4日から3月10日までの7日間宮崎大学に滞在した。九州大学では、フレーバー対称性やHiggs場の拡張模型を含んだ素粒子現象論に関する幅広いテーマを研究されている津村浩二准教授が受け入れて下さり、暗黒物質を含む模型に関する議論を行なった。この結果、津村氏とVictoria大の大川氏との共同研究に繋がった。

つづく宮崎大学では、フレーバー対称性や低いスケールの物理を含む素粒子現象論を研究されている下村崇准教授が受け入れて下さり、同じく宮崎大学に滞在されていた工学院大の荒木氏とKEKの田窪氏とFASER実験による新物理の探索についての議論を行なった。この結果、同テーマの可能性について継続的に議論することになった。

今回の九州滞在では、新型コロナウイルス感染症の影響で九州大学でのセミナー、宮崎大学での研究会が中止となってしまったが、今後の共同研究につながる有意義なものとなった。大変お世話になった受け入れ教員の津村准教授と下村准教授に深く感謝申し上げます。



宮崎大学にて議論した方々と。